

セットアップガイド

DVR-U20E

この度は、「DVR-U20E」(以下、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご利用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

動作環境の確認

対応機種 ^{※1}	USB 2.0ポート ^{※2} を搭載したDOS/Vマシン		
対応OS ^{※3}	Windows Vista ^{※4} / Windows XP / Windows 2000 Professional		
搭載CPU ^{※3}	Pentium III 450MHz以上		
メモリー ^{※3}	128MB以上		
ハードディスク ^{※3}	空き容量:250MB以上 (イメージファイル作成時に最大約8.5GBの空き容量が必要です。)		
対応メディア ^{※5}	●DVD: DVD+R ^{※6} 、DVD+RW、DVD-R ^{※7} 、DVD-RW、DVD-RAM ^{※8} 、DVD-ROM ●C D: CD-R、CD-RW、CD-ROM		
推奨メディア ^{※9}	メディア	メディアの速度	メーカー名
	1層DVD+R	16倍速 (最大20倍速書き込み ^{※11})	太陽誘電
		16倍速 (最大18倍速書き込み ^{※11})	ソニー、三菱化学
		8倍速	太陽誘電、三菱化学
	2層DVD+R	8倍速	三菱化学
		2.4倍速 (最大4倍速書き込み ^{※11})	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	8倍速	リコー
		4倍速	三菱化学、リコー
	1層DVD-R	16倍速 (最大20倍速書き込み ^{※11})	三菱化学
		16倍速 (最大18倍速書き込み ^{※11})	ソニー、太陽誘電、日立マクセル
		8倍速 (最大16倍速書き込み ^{※11})	ソニー、日立マクセル
	2層DVD-R	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
		4倍速	三菱化学
	DVD-RW	6倍速	日本ビクター、三菱化学
		4倍速	日本ビクター、三菱化学
推奨メディア ^{※10}	DVD-RAM	12倍速	日立マクセル
		5倍速	パナソニック、日立マクセル
	CD-R	3倍速	パナソニック、日立マクセル
		三菱化学	
推奨メディア ^{※11}	CD-RW	三菱化学	
		三菱化学	

- DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- 上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。Windows Vista[®]でご利用の際にはより高性能な環境を推奨いたします。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。
- 本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。

製品仕様

インターフェイス仕様		USB 2.0				適合フォーマット	●DVD: DVD-ROM、DVD-Video ●C D: CD-ROM Mode 1、CD-DA、CD-Extra、CD-I、 CD-ROM Mode2 (form1、form2)、 Video CD、CD-TEXT、PhotoCD					
設置条件		設置方向: 水平、垂直 (垂直は12cmメディアのみ対応)										
ディスクローディング方式		トレイタイプオートローディング										
データバッファサイズ		2MB		書き込みエラー回避機能		搭載	定格電流	5V: 1.5A、12V: 1.5A				
最大書き込み/ 読み込み速度	DVD	1層+R	2層+R	+RW	1層-R	2層-R	-RW	RAM	1層ROM	2層ROM	電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz
	書き込み	×20※	×8	×8	×20※	×8	×6	×12	-	-	動作温度	+5〜+35℃ (パソコンの動作する温度範囲であること)
	読み込み	×16	×12	×13	×16	×12	×13	×12	×16	×12	動作湿度	20%〜80% (結露なきこと)
	CD	-R	-RW	ROM							外形寸法	166(W)×240(D)×60.5(H)mm (突起部分を除く)
	書き込み	×48	×32	-							質量	約1.3kg (ACアダプターを除く)
	読み込み	×48	×40	×48								

※ USB転送最適化ユーティリティ「マッハUSB for BD/DVD」が無効の場合には最大18倍速となります。

I-O DATA

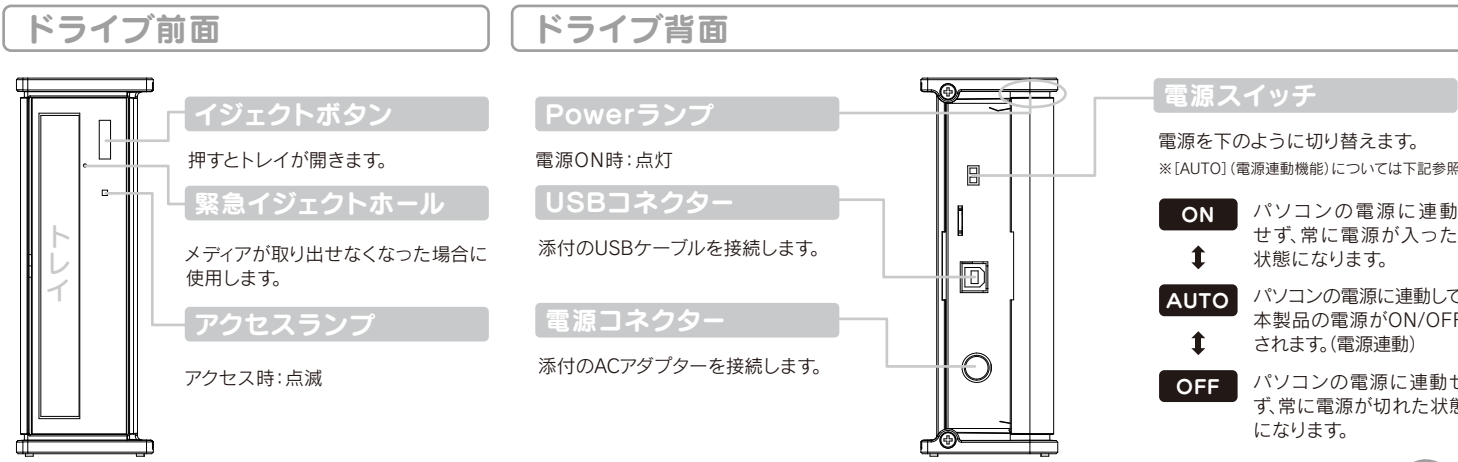
B-MANU201135-01

1. 準備しよう

内容物を確認します

- ☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。
- ☐ ドライブ(1台)
- ☐ ACアダプター(1個)
- ☐ ゴム足(8個)
- ☒ セットアップガイド(本書/1枚)
- ☐ DVDツールズコレクション(CD-ROM/1枚)
- ☐ ハードウェア保証書(1枚)
- ハードウェア保証書について
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されています。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称



- アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
- 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- 本製品はクラス1レーザー製品です。
レーザー光線による視力障害の原因となることがありますので、絶対に本製品を分解したり、修理、改造しないでください。
- 電源連動機能とは
パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れたと同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。
※電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きにする場合

- 1 本製品の底面に添付のゴム足を4個取り付けます。
- 2 イジェクトボタンが上になるように立てます。
- 1 本製品の横面に添付のゴム足を4個取り付けます。
- 2 イジェクトボタンが右になるように置きます。

2. 接続しよう

本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う場合にはWindowsを管理者権限でログインしてください。

- 1 本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。
- 2 添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。
- 3 本製品の電源を[ON]または[AUTO]にします。
- 4 パソコンのUSBポートにつなぎます
本製品はOSに標準で搭載されているドライバーを使用するため、ドライバーをインストールする必要はありません。

- 5 Windowsを起動して[マイコンピュータ](または[コンピュータ])を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

- ドライブ文字 (番号) は環境によって異なります。
- ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。
(例: Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。)

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aをご覧ください。

3. 取り外し手順を覚えよう

ここではパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例: Windows XP)

- 1 画面右下にあるタスクトレイのリムーバルツールをクリックします。
 - 2 本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字 (番号) で判断してください。(画面例: Eドライブの場合)
 - 3 メッセージを確認します。
(Windows XP以外の場合は[OK]をクリックします。)
 - 4 パソコンから本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
※電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。(Windows Vista[®]ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。)
※ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合
使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外しをおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

てっとり早くDVDを使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

デジタルメディア総合ソフト
nero8
ESSENTIALS
Writing Solution Nero

参考 Nero 8 Essentials
Writing Solution :
シリアル番号

「Nero 8 Essentials Writing Solution」をインストールすると以下の全てのユーティリティがインストールされます。

※他のデータライティングソフトやバケットライトソフトなどがインストールされている場合は、本ソフトウェアをインストールする前に全てアンインストールしてください。
※InCD Essentials」をインストールする場合は、必ず下記の手順に従ってインストールしてください。

Nero StartSmart Essentials	ランチャー	用途を選ぶだけでデータライティングソフト「Nero Express Essentials」を自動的に起動します。
Nero Express Essentials	データライティングソフト	データディスクや音楽CDなどを、このソフトウェア一つで簡単に作成することが出来ます。
InCD Essentials	バケットライトソフト	DVD±RW/DVD-RAM/CD-RWにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。

ドライブコントロールユーティリティソフト
QuickDrive LE
I-O DATA

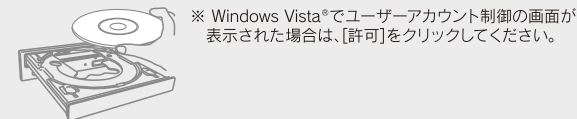
パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐドライブコントロールユーティリティソフトです。
(本ソフトは製品版QuickDriveの機能限定版です。)

画面で見るマニュアル
QuickDrive LE
I-O DATA

本製品の「基本操作」や「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。
※収録されているソフトをお使いの場合は、Windowsを管理者(Administrator)権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。

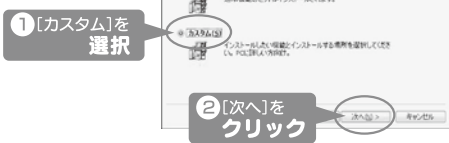


※Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「許可」をクリックしてください。

2 メニューが表示されたら「インストールする」をクリックします。

3 インストールしたいソフトをクリックします。

4 ●「Nero 8 Essentials Writing Solution」の場合
Neroのインストールメニューより「Nero 8 Essentials Writing Solution」を選択します。
詳しくは右記参照。



1 [カスタム]を選択

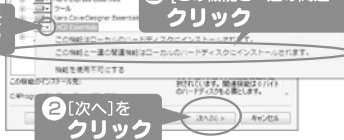
2 [次へ]をクリック

4 -1 [次へ]をクリックします。

4 -2 エンドユーザー使用許諾条項をよくお読みいただき、同意する場合は「ライセンス許諾・・・」にチェックをつき、[次へ]をクリックします。

4 -3 任意の[ユーザー名] [組織]を入力し、[次へ]をクリックします。
(シリアル番号は自動的に入力されます。)

4 -4 [カスタム]を選択し、[次へ]をクリックします。
(「InCD Essentials」のインストールが不要な場合は、[通常]を選択し、インストールすることも可能です。)



1 [InCD Essentials]横の[▼]をクリック

2 [この機能と一連の関連...]をクリック

4 -7 [次へ]をクリックします。

4 -8 [インストール]をクリックします。

4 -9 [次へ]をクリックします。

4 -10 [完了]をクリックします。

こんな時には・・・
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進みます。

てっとり早くデータDVDをつくってみよう

1 Nero StartSmart Essentials
ショートカットアイコンを
ダブルクリックします。



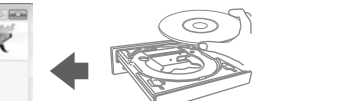
6 [現在のドライブ]に本製品を選択し、
[書き込み]ボタンをクリックします。



完成!

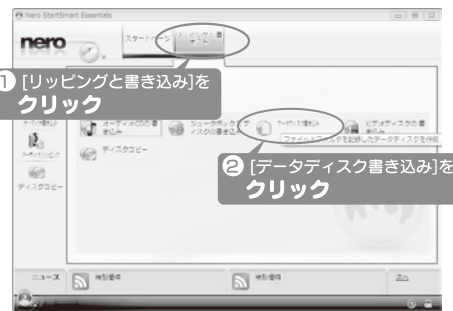
後で追記可能なディスクにする場合
「後でファイルを追加可能にする(マルチセッションディスク)のチェックをつけておく、以後もファイルの追記が可能です。

5 本製品に書き込み先
メディアを挿入します。



困った時には・・・
添付CD-ROMのメニューより
[Q&A]をご参照ください

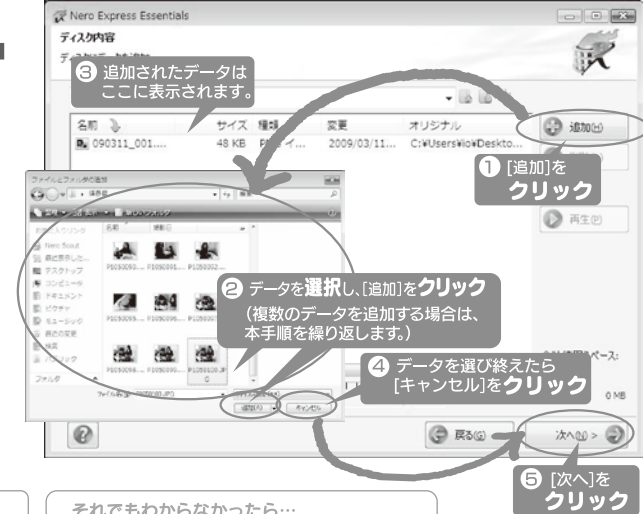
2 [リッピングと書き込み]→[データディスク
書き込み]の順にクリックします。



3 [データ]→[データDVD]の順にクリックします。



4 [追加]ボタンをクリックし、書き込むデータ
を選択します。



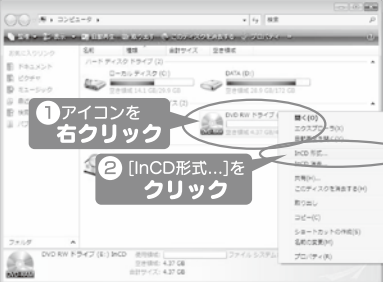
それでもわからなかったら・・・
Nero
045-910-0255
受付時間：10:00～12:30/13:30～17:00
月～金曜日(土日祝、特定休業日を除く)

てっとり早くDVD-RAMにデータを書き込もう

1 DVD-RAMメディアを
本製品に挿入します。



2 コンピュータ(またはマイコンピュータ)を開き、
本製品のアイコンを右クリック
→[InCD形式...]をクリックします。



3 ①[クイック]を選択します。
②[ボリューム名]は任意で入力します。
③[開始]ボタンをクリックします。



4 [はい]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。



※ 2～5の手順は初めてデータ
を書き込む際にのみ必要です。
※DVD±RW/RAM、CD-RW
メディアも同様の手順でデータ
を書き込むことができます。
※InCD Essentials」は
DVD±RW、DVD-RAM、
CD-RWでのお使いいただけ
ます。

注意 Nero Express Essentials + InCD Essentialsを使用する際のご注意

- 本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万が一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「Nero Express」を起動し、「拡張メニュー」の「ディスク情報」から使用済み容量をご確認ください。
- 2層DVD±Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- 一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアは「Nero Express」または「InCD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。なお、書き込みに失敗したメディアの保証はいたしていません。
- 一度「InCD」でフォーマットしたDVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「Nero Express」または「InCD」でいったん消去してから、「InCD」で再フォーマットしてください。

- DVD+RW/-RW/-RAM、CD-RWメディアの消去(初期化)は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
- InCD」は DVD±RW/DVD-RAM/CD-RW 専用のバケットライトソフトです。
- いったん「Nero Express」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「Nero Express」と本製品を使用してください。
- また、いったん「InCD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「InCD」と本製品を使用してください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- 「Nero Express」が対応していないDVD/CDドライブの場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができます。本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。※本製品添付CD-ROMに収録されているソフトウェアは本製品にのみ対応しております。
- 音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- Windows 2000でお使いの場合は、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
- InCD」はCPRMに対応していません。
- InCD」で使用できるメディアはDVD±RW/-RW/-RAM/CD-RWです。

困ったときには？

nero8
ESSENTIALS
Writing Solution
で困ったら・・・

- 1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
[スタート]メニューの[Nero 8]→[Nero Manuals]から起動します。
- 2 ホームページでサポート情報を見る。
<http://www.nero.com/jpn/support.html>
- 3 それでも解決しなかったら
サポートに問い合わせる。

株式会社Nero

TEL 045-910-0255

受付時間... 10:00～12:30/13:30～17:00
月～金曜日(土日祝、特定休業日を除く)

※お問い合わせの際はシリアル番号が必要です。
シリアル番号は以下の手順で確認することができます。
①デスクトップ上の[Nero StartSmart Essentials]アイコンをダブルクリックします。
②画面左下のアイコンをクリックし、「ツールボックス」→「Nero ControlCenter」の順に選択します。
③Nero ControlCenterウィンドウ左側のアイコンから「ライセンス」をクリックします。

<http://www.nero.com/jpn/support.html>

●E-Mail:上記サポートセンターのサポートフォームよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体やQuickDrive LE
で困ったら・・・

- 1 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aやソフトウェアの
画面で見るマニュアルを確認する。
- 2 ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
<http://www.iodata.jp/support/>
●最新サポートソフト
<http://www.iodata.jp/lib/>
- 3 それでも解決しなかったら
サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

TEL[東京] 03-3254-1095

TEL[金沢] 076-260-3688

FAX[東京] 03-3254-9055

FAX[金沢] 076-260-3360

受付時間... 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)
※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

修理について

以下の事項をご確認ください。

- お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどはわかりますので、ご了承ください。
- 修理金額について
■保証期間中は、無料で修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。)
- 修理をご依頼ください
■修理は、右の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便が着払いでお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

注意 著作権について

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなたが自身が著作権を所有していない場合、著作権保有者から複製の許諾を得ている場合は、著作権法の侵害となり、損害賠償を含む補償義務を負うことがあります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

商標について

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拓ける
株式会社
アイ・オー・データ機器
お客様サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2009.03.31 Copyright © 2009 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.